

2024年度（公財）日本電信電話ユーザ協会
新川地区協会 定期総会 議案書

2024年8月

 公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会
新川地区協会

— 議 案 目 次 —

第 1 号議案

(1) 2023年度 事業報告	・ ・ ・ ・ ・ 1
(2) 2023年度 収支決算報告	・ ・ ・ ・ ・ 4
(3) 2023年度 会計検査報告	・ ・ ・ ・ ・ 6

第 2 号議案

(1) 2024年度 事業計画(案)	・ ・ ・ ・ ・ 7
(2) 2024年度 収支予算(案)	・ ・ ・ ・ ・ 9

第 3 号議案

役員等選任	・ ・ ・ ・ ・ 10
-------	--------------

第 4 号議案

地区協会 会則の変更	・ ・ ・ ・ ・ 11
------------	--------------

【第1号議案】

2023年度 事業報告

2023年度の富山支部及び当地区協会の事業活動は、2大公益事業推進の観点からICT活用推進事業、並びにビジネスコミュニケーション教育事業を通じて、会員事業所様はもとより普く広く地域の事業所様等におけるICTを利用したDX導入や情報セキュリティ対策等を推進、支援を積極的に行うとともに、ビジネスコミュニケーション分野での人材育成の支援を積極的に行うことにより事業を展開してまいりました。

なお、事業運営にあたり各商工会議所・商工会、NTTグループ各社のご理解とご協力、ご支援をいただきながら、地域性を活かした事業活動に取り組みました。

2023年度における具体的な実施状況は以下のとおりです。

1. ICT活用推進事業

ICT活用推進事業では、全国で視聴が可能なオンライン方式でのICTセミナーを核に積極的に展開するほか、支部主催セミナー等を開催し地域の事業所様等に向け情報を発信いたしました。

セミナーの内容としては、本格化している「DX（デジタルトランスフォーメーション）導入・活用推進」や「AI」等の最新技術、不安定な世界情勢等を背景に対策が急務とされている「情報セキュリティ対策」、「インボイス制度」や「地域活性化」等の新たなテーマが中心となりました。さらに、富山支部として、一部の商工会議所のご要望による商工会議所の会員様向けに「生成AI（ChatGPT）利活用」の実演セミナーを開催するなど新たな取り組みにも着手することができました。

また、会員無料特典である「標的型攻撃メール予防訓練サービス」や「eラーニングサービス」については、継続的に多くの会員事業所様にご利用いただきました。

◆富山支部・地区協会主催(後援・共催)関連

分類	テーマ等	講演者	開催日			参加者数	
			年	月	日	人数	事業所数
ICT	1.ICTオンラインセミナー(富山支部主催) ◎えびや大食堂のデータ活用事例 ～売上6倍 利益率80倍UPの実績～	小田島 春樹 氏 (有限会社えびや 代表取締役)	2023	12	15	136	106
DX / AI	2.ICTオンラインセミナー(北陸3支部合同) ◎世の中の生成AIの動きについて ◎DXは日本を変えるのか	倉田 鋼志 氏 (NTT西日本 福井支店) 古市 憲寿 氏 (社会学者・作家)	2024	1	24	607	県外企業 多数
	3.商工会議所連携セミナー(新川地区協会) ◎ChatGPTに代表される生成AI等の 概要と業務への活用 (魚津商工会議所主催:魚津機電工業協同組合)	金子 純也 氏、島田 大 氏 (NTTビジネスソリューションズ 富山ビジネス営業部)	2024	2	27	15	12
経済講演	4.会員大会記念講演会(高岡地区協会) ◎「日本、そして地方経済はどうなるのか～」 (高岡商工会議所主催:集合形式)	藤井 聡 氏 (京都大学大学院 教授)	2023	12	4	250	***

◆全国型オンラインセミナー(本部・他支部主催)

◆協会本部連携セミナー(オンライン)		参加者数	参加企業数
・IOWNがもたらす産業・社会の変化	NTT IOWN推進室長 川島 正久 氏	29	29
・サイバーセキュリティ対策講座	警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 担当官 他		
他2セミナー			
◆協会他支部との相乗りセミナー(オンライン)		参加者数	参加企業数
・2023年経済から見た今後の経済見通し	ビジネス・ブレイクスル-大学院学長 大前 研一 氏	59	56
・宇宙に行くということ	宇宙飛行士 野口 聡一 氏		
・分身ロボットOriHimeが可能にする”適材適所社会”	株式会社 オリィ研究所 吉藤 オリィ 氏		
・中小企業には中小企業のDXがある	NIコンサルティング 長尾 一洋 氏		
他11セミナー		88	85
合 計			

※前年度実績 (69) (69)

◆eラーニングサービス、標的型メール予防訓練サービスのご利用状況

事業項目		①2023年度	②2022年度	①/②	2021年度
eラーニングサービス	利用者数	476	364	131%	142
	事業所数	57	41	139%	22
標的型攻撃メール予防訓練サービス	利用者数	72	49	147%	65
	事業所数	8	7	114%	9

2. ビジネスコミュニケーション教育事業

ビジネスコミュニケーション教育事業では、受講者の電話対応スキルやビジネスマナーの向上を目的に4月に開催した「新入社員等ビジネスマナーセミナー」を皮切りに「電話対応技能検定講習会」、リモート開催による「クレーム電話対応力向上セミナー」など、年間で26回の研修を開催し308名(前年度比129%)に参加いただきました。

特に「クレーム電話対応力向上セミナー」では、難クレームとなりやすい2次対応者向けの上級コースを新設したことで受講者の知識向上とスキルアップに寄与いたしました。

事業項目		①2023年度	②2022年度	①/②	参考：2024年度
電話応対等研修	参加者数	308	239	129%	
	実施回数	26	29	90%	
電話応対コンクール関連 【講師】I.S.K 市井啓子氏 事務所経田 経田博子氏	参加者数	87	37	235%	進行中
	実施回数	4	3	133%	
電話応対技能検定関連 【講師】事務所経田 経田博子氏	参加者数	48	70	69%	進行中
	実施回数	10	12	83%	
新入社員等電話応対ビジネスマナー 【講師】事務所経田 経田博子氏 I.S.K 市井啓子氏	参加者数	90	78	115%	103名受講 4月6回実施済
	実施回数	6	8	75%	
クレーム電話対応力向上セミナー 【講師】ビコーズ社 松尾友子氏 佐藤久美子氏	参加者数	83	54	154%	2025年1月 開催予定
	実施回数	6	6	100%	

※参加者数は延べ人数

(1)電話応対コンクール

「電話応対コンクール富山県大会」では、県内10事業所様から24名(前年度比141%)の参加を頂きコロナ禍以前の状況に戻る傾向が見受けられました。研修では、基礎研修会の新設や参加者個人に詳細なフィードバックを行うなど参加者の“気づき”を促し着実なスキルアップと参加事業所様の職場の対応品質向上にも寄与する取り組みを展開いたしました。

事業項目		①2023年度	②2022年度	①/②	参考：2021年度
電話応対コンクール富山県大会	参加者数	24	17	141%	13
	事業所数	10	8	125%	8

◆ 2023電話応対コンクール富山県大会入賞者

順位	お名前	会社名
優勝	吉村 理美 さん	富山信用金庫
準優勝	片境 祐生子 さん	ケーブルテレビ富山
3位	野田 彩花 さん	富山第一銀行
優秀賞	澤 純子 さん	ケーブルテレビ富山
優秀賞	沢田 真子 さん	スリー・ティ

※全国大会(10/20札幌文化芸術劇場hitaru)

優 勝 橋本 美穂さん（熊本代表）
大同生命保険株式会社
準優勝 西 幸恵さん（石川代表）
ヤマトコンタクトサービス株式会社
北陸コンタクトセンター

優勝した 吉村 理美さん（富山信用金庫）は富山県代表として「第62回電話応対コンクール全国大会 in 札幌」に出場しこれまで培ったスキルを発揮していただきました。

(2)電話応対技能検定(もしもし検定)

各企業のCS（顧客満足）経営に直結する資格取得の場として取り組んでまいりましたが受験者数は減少傾向となりました。

事業項目		①2023年度	②2022年度	①／②	参考:2021年度
電話応対技能検定(指導者級)	受験者数	講義、試験とも本部で実施			
	合格者数				
電話応対技能検定(1級) ※金沢会場	受験者数	0	0	—	1
	合格者数	0	0	—	0
電話応対技能検定(2級)	受験者数	3	9	33%	5
	合格者数	2	1	200%	0
電話応対技能検定(3級)	受験者数	27	36	75%	33
	合格者数	7	14	50%	6
電話応対技能検定(4級)	受験者数	28	30	93%	48
	合格者数	22	27	81%	32

※富山県内事業所関連。

3. 協会活性化(会員拡大の取組み)

(1) 各種会議の開催

①支部理事会 2023年7月11日（火）ANAクラウンプラザホテル富山

②地区協会総会 地区協会総会は、「書面決議」により開催

(2) イベント等情報の周知と新規会員獲得の取組み

イベント周知及び新規会員獲得については、支部ホームページへの情報掲載及び商工会議所・商工会の会報誌折込サービスを積極的に活用し展開しました。

2023年度末の富山支部内会員数は458会員となり、前年度末より21会員減少しました。

組 織		①2023年度	②2022年度	①－②	2021年度
富山支部	年度末会員数	458	479	▲ 21	488
	入会数	9	12	▲ 3	6
	退会数	30	21	9	55
富山地区協会	年度末会員数	229	241	▲ 12	243
	入会数	4	8	▲ 4	4
	退会数	16	10	6	29
高岡地区協会	年度末会員数	107	115	▲ 8	118
	入会数	3	4	▲ 1	2
	退会数	11	7	4	13
両砺地区協会	年度末会員数	53	52	1	52
	入会数	1	0	1	0
	退会数	0	0	0	5
新川地区協会	年度末会員数	69	71	▲ 2	75
	入会数	1	0	1	0
	退会数	3	4	▲ 1	8

2023年度
新 川 地 区 協 会 収 支 計 算 書
自 2023年4月1日 ～ 至 2024年3月31日

【収入の部】

(単位：円)

勘 定 科 目		2023年度決算額	2023年度予算額	差 異
大 科 目	中 科 目	①	②	①－②
会 費 収 入		204,000	207,000	△ 3,000
	・ 会 員 会 費 収 入	204,000	207,000	△ 3,000
事 業 収 入 (業 務 提 携)		0	0	0
雑 収 入		0	0	0
内 部 取 引 収 入		0	0	0
当期収入合計(A)		204,000	207,000	△ 3,000
前期繰越収支差額		216,503	216,503	0
収入合計(B)		420,503	423,503	△ 3,000

【支出の部】

勘 定 科 目		2023年度決算額	2023年度予算額	差 異
大 科 目	中 科 目	①	②	①－②
事 業 費		35,000	0	35,000
	・ セミナー等費	35,000	0	35,000
管 理 費		69,957	90,000	△ 20,043
	・ 会議費	39,866	50,000	△ 10,134
	評議員理事会費	39,866	50,000	△ 10,134
	・ 諸経費	30,091	40,000	△ 9,909
	会費等負担金	20,000	28,000	△ 8,000
	その他経費等	10,091	12,000	△ 1,909
内 部 取 引 費		68,495	115,000	△ 46,505
	・ 運営資金等支出	68,495	115,000	△ 46,505
当 期 支 出 合 計 (C)		173,452	205,000	△ 31,548
当期収支差額 (A) - (C)		30,548	2,000	28,548
次期繰越収支差額 (B) - (C)		247,051	218,503	28,548
支 出 合 計		420,503	423,503	△ 3,000

2023年度
新川地区協会貸借対照表

2024年3月31日 現在

【新川地区】

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部		
勘 定 科 目			勘 定 科 目		
大 科 目	中 科 目	金 額	大 科 目	中 科 目	金 額
流 動 資 産	現 金	0	流 動 負 債		0
	普 通 預 金	76,525			
	未 収 金	3,000			
	内部貸付金	167,526			
流 動 資 産 合 計		247,051	負 債 合 計		0
その他 固定資産		0	正 味 財 産 の 部		
			正 味 財 産	正 味 財 産	247,051
その他固定資産合計		0	正 味 財 産 合 計		247,051
資 産 合 計		247,051	負 債 及 び 正 味 財 産 合 計		247,051

2023年度
新川地区協会財産目録

2024年3月31日 現在

【新川地区】

(単位：円)

勘 定 科 目		
大 科 目	中 科 目	金 額
流 動 資 産	現 金	0
	普 通 預 金	76,525
	北陸銀行魚津支店	67,922
	にいかわ信用金庫本店	8,603
	未 収 金	3,000
	会費	3,000
	内部貸付金	167,526
そ の 他 固 定 資 産		0
資 産 合 計		247,051
流 動 負 債		0
負 債 合 計		0
正 味 財 産		247,051

2023 年度 会計検査報告書

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会新川地区協会の 2023 年度
(2023 年4月1日から2024 年3月31日)における業務及び会計について、
検査の結果、適正かつ正確であると認めたことを報告します。

2024年 5 月 22 日

監 事

河 崎 佳 子 

監 事

辻 清 人 

【第2号議案】

2024年度事業計画（案）

2024年度における富山支部及び当地区協会の事業活動は、公益財団法人としての2大公益事業である「ICT活用推進事業」及び「ビジネスコミュニケーション教育事業」の普及拡大を図り地域社会の発展に貢献するため各種施策や会員サービスの充実等に引き続き取り組んでまいります。

更に、新規会員の拡大や会員離れを抑止するため、様々な事業所様のご意見やご要望をお伺いしながら「使える情報・使えるサービス」をご提供できるようトライアルにも着手したいと考えております。

「ICT活用推進事業」については、全国で視聴可能なオンラインセミナーを活用し、本格化しつつある様々なICTサービスの最新情報をお届けするほか、各種団体等の皆さまと連携し、AI活用のための「生成AI（ChatGPT等）」利活用セミナーなど世の中で話題になっているサービスを身近に感じていただくセミナーを展開し地域の皆さまに分かりやすく情報発信を実施していくこととします。

「ビジネスコミュニケーション教育事業」については、電話対応コンクールなどこれまで培ったベース事業を更に品質向上を図り拡大していくとともに、地域の事業所様と一体となった更なるお客様満足度（CS）向上を標榜する取り組みにも着手して参りたいと考えております。また、SNS等に代表される「ネット社会」におけるコミュニケーションの在り方についても模索していきたいと考えております。

上記の活動を具体的に展開するためには、まず会員事業所様等との接点を拡大し当協会に対するご意見やご要望をお伺いすることが重要と考えております。更に当協会のプレゼンス向上を図るため、当協会の取組み等について各地区協会の会員事業所様をはじめ一般事業所様にも分かりやすく効果的な情報発信を進めていきたいと考えております。

更に、これまで以上に当地区協会内の商工会議所・商工会等との連携強化等を図り、協会会員のみならず商工会議所等会員の方々にも事業発展に資する情報発信、活動の充実を図って参ります。

また、当支部の基盤強化については、年々新規会員数を上回る退会数がある現状を踏まえ、各地区協会での活動を活性化し、当協会のサービスを具体的に知っていただき、実際に利活用いただける会員数を着実に増やしていくことでサービスの改善と満足度の向上を目指すことといたします。

なお、2024年度の各種施策及び取組みのスケジュールは別紙のとおりです。

2024年度 富山支部（地区協会）年間スケジュール（案）

（公財）日本電信電話ユーザ協会 富山支部

No	区分	事業項目	実施時期等
1	ICT推進事業	◆全国型オンラインビジネスセミナー＜本部・他支部主催＞	通年
		◆商工会議所様・商工会様連携セミナー＜ハイブリッド／オンライン＞	第2四半期／第3四半期
		◆e-ラーニング研修サービス（会員無料特典）の提供	通年（11回）
		◆標的型攻撃メール予防訓練サービス（会員無料特典）の提供	通年（11回）
		◆会報誌「テレコム・フォーラム」によるICT活用事例紹介	通年
2	ビジネスコミュニケーション教育事業	◆新入社員等ビジネスマナーセミナー＜集合形式＞ ※実施済み	4月8日（高岡会場） 4月9日（富山会場） 4月12日（新川会場） 4月15日（両砺会場）
		◆2024年度電話対応コンクール ○基礎研修会の実施 ○模擬体験会の実施（リモート方式） ○強化研修会（富山・高岡） ○富山県代表者選考大会（富山県大会） ◎第63回全国大会（高知市）	6月26日 （富山商工会議所ビル） 7月25日 （各事業所 ⇄ ユーザ協会） 8月27日 （富山商工会議所ビル） 8月28日 （高岡商工会議所ビル） 10月8日 （富山商工会議所ビル） 11月15日 （高知県立県民文化ホール）
		◆観光客対応用 街ごとCS向上セミナー（仮称）	第2四半期／第3四半期
		◆クレーム電話対応力向上セミナー＜リモート＞ 上級セミナー＜リモート＞	2025年1月（予定）
		◆電話対応技能検定（もしもし検定） ☐ 2級検定 ☐ 3級検定 ☐ 4級検定	※検定日は各月第1水曜日 10月 5月・11月・'25年3月 6月・8月・12月・'25年2月
		◆商工会議所様等の折込サービスを活用した会員拡大	通年
		◆富山支部定期理事会 ・2023事業報告・決算報告 ・2024事業計画（案）・収支予算（案）	7月9日 （富山電気ビル）
4	会議等	◆地区協会定期総会 ・2023事業報告・決算報告 ・2024事業計画（案）・収支予算（案）	8月
		◆地区協会理事会	9月（予定）

2024年度

新川地区協会収支予算書(案)

自 2024年4月1日 ~ 至 2025年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		2024年度予算額	2023年度予算額	差異
大科目	中科目	①	②	①-②
会費収入		213,000	207,000	6,000
	・会員会費収入	213,000	207,000	6,000
事業収入		0	0	0
	・セミナー等収入	0	0	0
雑収入		0	0	0
	・受取利息	0	0	0
内部取引収入		0	0	0
当期収入合計(A)		213,000	207,000	6,000
前期繰越収支差額		247,051	216,503	30,548
収入合計(B)		460,051	423,503	36,548

【支出の部】

勘定科目		2024年度予算額	2023年度予算額	差異
大科目	中科目	①	②	①-②
事業費		0	0	0
	・セミナー等費	0	0	0
管理費		71,000	90,000	△ 19,000
	・会議費	40,000	50,000	△ 10,000
	評議員理事会費	40,000	50,000	△ 10,000
	・諸経費	31,000	40,000	△ 9,000
	会費等負担金	20,000	28,000	△ 8,000
	その他経費	11,000	12,000	△ 1,000
内部取引費		115,000	115,000	0
	・運営資金等	115,000	115,000	0
当期支出合計(C)		186,000	205,000	△ 19,000
当期収支差額(A)-(C)		27,000	2,000	25,000
次期繰越収支差額(B)-(C)		274,051	218,503	55,548
支出合計		460,051	423,503	36,548

【第3号議案】

新川地区協会会則第10条3項、第11条、第13条並びに第15条第2項に基づき、以下役員等の選任について承認をお願いいたします。

(敬称略)

役 職	氏 名	所属会社（事業所）役職名	選任区分	前任者
会 長	大 愛 高 義	魚津商工会議所 会頭 オーアイ工業株式会社 代表取締役会長	再任	—
副 会 長	小 林 聖 子	Y K K株式会社 副社長 黒部事業所長	新任	浅野 慎一
理 事	東 山 考 一	あさひ総合病院長	再任	—
理 事	熊 倉 克 一	ビニフレイム工業株式会社 代表取締役社長	再任	—
理 事	川 本 吉 伸	北陸電力株式会社 理事 新川支店長	再任	—
理 事	高 田 哉 史	株式会社北陸銀行 魚津支店長	新任	飛 要
理 事	田 中 明 子	魚津市 総務部次長 兼 総務課長	再任	—
理 事	川 添 礼 子	黒部市 総務管理部 理事 兼 総務課長	新任	林 茂行
理 事	梅 澤 武 志	入善町 参事・総務課長	再任	—
理 事	谷 口 保 則	朝日町 総務政策課 参事・課長	再任	—
監 事	河 崎 佳 三	魚津市 総務部財政課 課長代理	再任	—
監 事	辻 清 人	黒部市 総務管理部 総務課 課長補佐	新任	若林 剛史
事 務 局 長	大 崎 敏 治	魚津商工会議所 専務理事	—	—

顧 問	東 山 真 也	N T T西日本富山支店長	再任	—
参 与	西 村 晃 一	N T T西日本富山支店 ビジネス営業部長	再任	—
参 与	田 辺 雅 一	N T T西日本富山支店 事業推進室長	再任	—

(参考) (公財) 日本電信電話ユーザ協会新川地区協会会則抜粋

(役職と選任)

第10条

3 地区協会理事及び地区協会監事(以下「地区協会理事等」という。)は、地区協会総会において選任する。

(地区協会会長及び地区協会副会長の選任)

第11条 地区協会会長及び地区協会副会長は、地区協会総会において選任する。。

(地区協会理事等の任期)

第13条地区協会理事等の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。

(地区協会顧問)

第15条

2 地区協会顧問は、地区協会総会において選任する。

【第4号議案】

地区協学会則の一部変更について（案）

富山支部管内の4地区協会（富山、高岡、両砺、新川）において、毎年、新規入会数を上回る退会数が発生している状況を踏まえ、当協会の各種サービスに対するご意見やご要望を把握し改善していくことが喫緊の課題と考えております。

そこで各地区協会内での意見交換、相互連携及び地域性が反映されたご要望を把握するために地区協会の理事会にご協力をお願いしたいと考えております。

つきましては、地区協会での理事会の位置づけを改め、迅速な意思決定を促進するため会則の一部を変更することを提案いたします。

具体的には、地区協会総会の機能である、事業報告（決算）及び事業計画（予算）の承認、地区協会の事業活動に関する重要事項の議決、役員・役職者等の選任などを、理事会機能へ移行し、これに伴う関連条項を変更します。変更箇所は以下の通りです。

●地区協学会則の変更箇所（案）

見出し	条項	小項目	地区協学会則（現行）	変更案
（組織）	第3条	第2項	この会の、統合、廃止及び名称は、 地区協会総会 の議決を得たうえ、支部理事会の議決で定める。	この会の、統合、廃止及び名称は、 地区協会理事会 の議決を得たうえ、支部理事会の議決で定める。
（役職と選任）	第10条	第3項	地区協会理事及び地区協会監事（以下「地区協会理事等」という。）は、 地区協会総会 において選任する。	地区協会理事及び地区協会監事（以下「地区協会理事等」という。）は、 地区協会理事会 において選任する。
（会長等の選任）	第11条		地区協会会長及び地区協会副会長は、 地区協会総会 において選任する。	地区協会会長及び地区協会副会長は、 地区協会理事会 において選任する。
（地区協会顧問）	第15条	第1項	この会に、地区協会顧問を置くことができる。	この会に、地区協会顧問 及び参与 を置くことができる。
		第2項	地区協会顧問は、 地区協会総会 において選任する。	地区協会顧問 及び参与 は、 地区協会理事会 において選任する。
		第3項	地区協会顧問は、次の職務を行う。 (1) 地区協会の相談に応じること (2) 地区協会理事会から諮問された事項について意見を述べること	地区協会顧問 及び参与 は、次の職務を行う。 (1) 地区協会の相談に応じること (2) 地区協会理事会から諮問された事項について意見を述べること
（総会の構成等）	第17条	第1項	地区協会総会は、 定時総会及び臨時総会とする。	地区協会総会は、会員をもって構成する。
		第2項	地区協会総会は、会員をもって構成する。	地区協会総会は、会長が必要と認めた時に開催することとする。
		第3項	地区協会総会は、次の事項を審議する。 (1) この会則で、地区協会総会の議決事項とされている事項 (2) その他地区協会の運営に関する重要事項	地区協会総会では、会長が総会で決議する必要があると判断した議案について議決する。
		第4項	地区協会総会は、次の事項について、支部理事会が定める経営の基本方針及び支部の指導の範囲内で、議決することができる。 (1) 事業計画及び予算 (2) 事業報告及び決算 (3) その他地区協会の事業活動に関する事項	削除
		第5項	定時総会は、毎年1回、臨時総会は会長が必要と認めたときこれを招集する。	削除

見出し	条項	小項目	地区協定会則（現行）	変更案
(総会の議長及び議決)	第18条	第3項	総会は、15会員（見なし出席者は除く）以上の出席がなければ、集合による総会を開くことができない。	削除
		第4項	前3号により集合による総会を開催しない場合は、事前に徴した委任状をもって総会の議決に代えることができる。	削除
(理事会の構成及び機能)	第20条	第2項	地区協合理事会は、次の事項を議決する。 (1) 総会より委任された事項 (2) その他必要な事項	地区協合理事会は、次の事項について理事会が定める経営の基本方針の範囲内で、議決することができる。 (1) 事業計画及び予算 (2) 事業報告及び決算 (3) 総会より委任された事項 (4) その他地区協会の事業活動に関する重要事項
		第3項	地区協合理事会は、地区協会会長が必要と認めた時にこれを招集する。	地区協合理事会の定時理事会は年1回、臨時理事会は地区協会会長が必要と認めたときこれを招集する。
理事会の定足数及び議決	第21条	第1項	地区協合理事会の議長は、地区協会会長とする。ただし、地区協会会長が欠席した場合における議長は、出席した地区協合理事の中から互選された者がこれに当たる。	地区協合理事会は、地区協合理事の過半数の出席がなければ開催することができない。
		第2項	地区協合理事会の議決は、出席した会員の過半数の同意をもって行う。	地区協合理事会の議長は、地区協会会長がこれに当たる。ただし、地区協会会長が欠席した場合における議長は、出席した地区協合理事のなかから互選された者がこれに当たる。
		第3項		地区協合理事会の議決は、出席した地区協合理事の過半数の同意をもって行う。
		第4項		やむを得ない理由のため、地区協合理事会に出席できない地区協合理事は、あらかじめ通知された事項についてのみ書面または電磁的記録をもって表決、又は、地区協合理事会に出席する代理人をもって表決権を行使することができる。
		第5項		前項の代理人は代理権を証する書面を議長に提出しなければならない。
		第6項		第4項の規定による表決を行った者は出席とみなす。
		第7項		地区協会会長が必要と認めた事項については、書面または電磁的記録をもって、地区協合理事の賛否を徴し、地区協合理事会の開催に代えることができる。この場合においては、回答した地区協合理事の数をもって、出席者とみなす。
会則の変更	第25条		この会則は、定款、規程等の範囲内に置いて、 地区協会総会の議決 を経て変更することができる。	この会則は、定款、規程等の範囲内において、 地区協合理事会の議決 を経て変更することができる。

2024年度社員育成計画の準備はもうお済みですか？

約50講座から社員スキル・業務内容に応じてWeb講座を自由に選択！

毎月開催（20名様まで）、何回でも受講可能！ 受講確認+確認テストのレポート付き！

1社年間延べ220名

eラーニング

ICT活用知識・業務改革、顧客満足向上、そしてコンプライアンス推進に適した多彩な学習コンテンツから、社員の皆さまのスキルや業務等に応じた講座を自由に選択。いつでも（毎月）、何回でも受講開始が可能なeラーニングを、ぜひご活用ください。



◆2024年度 eラーニング年間スケジュール

	申込受付期間	受講期間
第5回	8/1 ~ 8/15	9/15 ~ 10/6
第6回	9/1 ~ 9/15	10/15 ~ 11/5
第7回	10/1 ~ 10/15	11/15 ~ 12/6
第8回	11/1 ~ 11/15	12/15 ~ 1/5
第9回	12/1 ~ 12/15	1/14 ~ 2/4
第10回	1/4 ~ 1/18	2/15 ~ 3/8
第11回	1/25 ~ 2/8	3/10 ~ 3/31

※諸事情により期間等が変更になる場合があります

◆2024年度講座カテゴリー

講座カテゴリー
ICT知識・スキル向上(14講座)
・DX入門 ・IoT入門 ・AI入門 ・PC作業を自動化するRPAツール ・WEB集客入門
ビジネスコミュニケーション向上(23講座)
・ビジネススキル ・ビジネスマインド ・ビジネスマナー ・コミュニケーション
コンプライアンス向上(12講座)
・SDGsの認識を深めよう ・セキュリティ意識を高めよう ・ハラスメントを理解しよう

サイバー攻撃対策はまず社員一人ひとりの危機意識から！

メール受信、添付ファイルの開封、何気なく行ってしまうと大変なことに発展する可能性があります。社内システム停止、取引先・顧客の情報流失を未然に防ぐため、社員全員の危機意識向上が重要です！



標的型攻撃メール予防訓練

Emotet（エモテット）など悪質な標的型メール被害も増加中！ユーザ協会では、会員様に向け「標的型攻撃メール予防訓練」の無料体験（ご利用は年1回10メールアドレスまで）を行っています。訓練用疑似メールで怪しいメールを経験し、万が一感染した場合の対応まで社内準備することによりリスクの低減につながります。

◆2024年度標的型攻撃メール予防訓練スケジュール

	申込受付期間	訓練実施時期
第5回	8/10 ~ 8/25	9月下旬頃
第6回	9/10 ~ 9/25	10月下旬頃
第7回	10/10 ~ 10/25	11月下旬頃
第8回	11/5 ~ 11/20	12月下旬頃
第9回	12/10 ~ 12/25	1月下旬頃
第10回	1/10 ~ 1/25	2月下旬頃
第11回	2/10 ~ 2/25	3月下旬頃

※諸事情により期間等が変更になる場合があります

1 会員事業所様10アドレスまで無料訓練！

Q.10メールアドレスだけでは少ないのでは？

A.目的は社員の危機意識向上です。予防訓練を全社員にアナウンスすることで注意力を高め、各グループからランダムに選んだメールアドレスへの訓練メールでも効果が得られます。

Q.開封してしまったら？

A.実際に感染することはありません。開封率から社内の危機意識がわかります。重要なのは開封しない対策、開封後の対応の準備です。